

## ニホンザル管理事業実施計画書

令和2年度ニホンザル管理事業実施計画書(県実施分)(案).....	p3~5
平成30年度ニホンザル管理事業実績報告書(県実施分).....	p7~10
平成31年度ニホンザル管理事業実施計画書(市町村分).....	p11~24
平成30年度ニホンザル管理事業実績報告書(市町村分).....	p25~39

令和元年8月

宮城県環境生活部自然保護課



令和2年度

ニホンザル管理事業実施計画書(県実施分)(案)

令和元年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和2年度ニホンザル管理事業実施計画(案)

宮城県 農林部はH31計画からの変更箇所

H31計画	R2計画(案)	備考
<p>1 被害防除対策 (1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:農作物被害は、過去3か年の平均を下回る。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>1 被害防除対策 (1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:農作物被害は、過去3か年の平均を下回る。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p>
<p>2 個体数管理 (1) 有害捕獲 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲のための購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データを基に現状の評価基準において、群れの再評価を再検討する。</p>	<p>2 個体数管理 (1) 有害捕獲 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲のための購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データを基に現状の評価基準において、群れの再評価を再検討する。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>自然保護課</p>
<p>3 生息環境管理 (1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 人家や田畑などでサルによる被害が確認される地域においては、活用できる補助事業の周知等により、サルの隠れ家となり得る農地周辺森林の整備に向けた取組を支援する。</p> <p>(3) モニタリング調査 イ 生息状況調査 現地調査及び地元住民、市町等の関係者からの聞き取り等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS首輪を用いた行動追跡調査を実施し、遊動域や利用環境の特性等について解析を行う。</p>	<p>3 生息環境管理 (1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 人家や田畑などでサルによる被害が確認される地域においては、活用できる補助事業の周知等により、サルの隠れ家となり得る農地周辺森林の整備に向けた取組を支援する。</p> <p>(3) モニタリング調査 イ 生息状況調査 現地調査及び地元住民、市町等の関係者からの聞き取り等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS首輪を用いた行動追跡調査を実施し、遊動域や利用環境の特性等について解析を行う。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>森林整備課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p>

H31計画		R2計画(案)		備考
ハ	捕獲状況調査 各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。	ハ	捕獲状況調査 各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。	自然保護課
4	<p>その他</p> <p>(1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 サル対象13市町) ※ H30.10末時点</p> <p>(2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>(3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(4) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、農業協同組合、猟友会支部等と連携し、市町間の調整や、助言・指導を行う。</p> <p>(5) 関係隣接県(山形及び福島県)と生息(遊動域)の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。</p> <p>(6) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要ことから、実施状況についてホームページ等を通じ公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、リーフレット、各種自然保護及び鳥獣被害対策関連行事を通じ普及啓発を図る。</p> <p>(7) 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。 イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル部会 管理計画の内容及び実行状況についての分析・評価等。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会 管理計画の作成、実行方法等についての検討、関係者の合意形成。</p> <p>(8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>4</p> <p>その他</p> <p>(1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 サル対象16市町) ※ H31.4末時点</p> <p>(2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>(3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(4) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、農業協同組合、猟友会支部等と連携し、市町間の調整や、助言・指導を行う。</p> <p>(5) 関係隣接県(山形及び福島県)と生息(遊動域)の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。</p> <p>(6) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要ことから、実施状況についてホームページ等を通じ公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、リーフレット、各種自然保護及び鳥獣被害対策関連行事を通じ普及啓発を図る。</p> <p>(7) 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。 イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル部会 管理計画の内容及び実行状況についての分析・評価等。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会 管理計画の作成、実行方法等についての検討、関係者の合意形成。</p> <p>(8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>林業振興課</p>	



平成30年度

ニホンザル管理事業実績報告書(県実施分)

令和元年8月

宮城県環境生活部自然保護課

平成30年度ニホンザル管理事業実績

宮城県

H30計画		H30実績		評価
1	<p>被害防除対策</p> <p>(1) 被害防除に関する目標（県全体）：566万円 ※管理計画に基づく目標：農作物被害は、過去3か年の平均を下回る。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>被害防除対策</p> <p>(1) 農業被害額：455万円 (参考 H29年度実績：528万円)</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合対策交付金等により8事業実施主体における捕獲等の取組を補助した。 (仙台市、白石市、蔵王町、七ヶ宿町、丸森町、山元町、松島町、加美町)</p> <p>(3) 交付金の活用や被害防止計画作成等への支援、指導を行った。</p>	<p>【農山漁村なりわい課】被害が減少し、目標を達成できた。</p> <p>【農山漁村なりわい課】計画通り実施できた。引き続き交付金の活用等について指導及び支援を行う。</p> <p>【農山漁村なりわい課】計画通り実施できた。引き続き、交付金の活用等について指導、支援を行う。</p>	
2	<p>個体数管理</p> <p>(1) 有害捕獲 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲（狩猟、わな設置）に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データを基に現状の評価基準にあてはめ、群れの評価を再検討する。</p>	<p>個体数管理</p> <p>(1) 有害捕獲 鳥獣被害防止総合対策交付金等により8事業実施主体における捕獲等の取組を補助した。 (仙台市、白石市、蔵王町、七ヶ宿町、丸森町、山元町、松島町、加美町)</p> <p>(2) 群れの再評価等 昨年度と群れ数に変化はなく58群であるが、分裂の可能性の高い群れが3群あり、群れ数は増加傾向にある。</p>	<p>【農山漁村なりわい課】計画通り実施できた。引き続き、交付金を活用して有害捕獲活動を支援する。</p> <p>【自然保護課】今後も継続し、群れの評価を行っていく。</p>	
3	<p>生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防除対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 人家や田畑などでサルによる被害が確認される地域においては、活用できる補助事業の周知等により、サルの隠れ家となり得る農地周辺森林の整備に向けた取組を支援する。</p>	<p>生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 研修会により、取組を推進した。</p> <p>(2) サルの生息域において、国庫補助事業を活用した民有林の間伐等、森林整備を実施した。</p>	<p>【農山漁村なりわい課】計画通り実施できた。引き続き、地域における取組を推進する。</p> <p>【森林整備課】今後も適切な森林整備を実施し、サルの生息環境に適した多様な植生を維持する必要がある。</p>	



H30計画	H30実績	評価
<p>(3) モニタリング調査  生息状況調査  現地調査及び地元住民、市町等の関係者からの聞き取り等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>口 被害状況調査  GPS首輪を用いた行動追跡調査を実施し、遊動域や利用環境の特性等について解析を行う。</p> <p>ハ 捕獲状況調査  各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。</p>	<p>(3) モニタリング調査  生息状況調査  委託事業により、生息状況、被害状況、捕獲状況等調査を行った。  ・ポピュレーション数：7つ（増減なし）  ・群れ数：58群（増減なし）  ・個体数：3,237頭（59頭増）  ・群れ外オス：約689頭（14頭増）</p> <p>口 被害状況調査  GPS首輪を装着した群れを対象に追いつぎを実施した。</p> <p>ハ 捕獲状況調査  一部市町村では大型捕獲施設による捕獲が実施された。</p>	<p>【自然保護課】  今後もモニタリング調査を継続し、動向を把握する必要がある。</p> <p>【自然保護課】  今後もGPS首輪を用いた調査を継続し、動向を把握する必要がある。</p> <p>【自然保護課】  今後も各市町村と情報を共有し、状況を把握する必要がある。</p>
<p>4 その他</p> <p>(1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。  （計画作成済み市町村 サル対象13市町）  ※ H29.10末時点</p> <p>(2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>(3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(4) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、農業協同組合、猟友会支部等と連携し、市町間の調整や、助言・指導を行う。</p>	<p>4 その他</p> <p>(1) ニホンザルを対象鳥獣とする7市町について計画更新、1町について計画変更を支援した。  （気仙沼市、角田市、登米市、大崎市、川崎町、松島町、色麻町が計画更新、加美町が計画変更）</p> <p>(2) 普及指導員2名を国の研修に派遣し、職員の育成に努めるとともに、各地域での被害対策を推進した。</p> <p>(3) 地方振興事務所で連携会議及び研修会等を開催し、防除対策等の情報交換を実施し、被害防止を図った。</p> <p>(4) 県の調査結果の情報提供及び計画書作成指導を行った。</p>	<p>【農山漁村なりわい課】  計画通り実施できた。引き続き、計画の作成及び変更を支援する。</p> <p>【農山漁村なりわい課】  計画通り実施できた。引き続き、農作物被害対策の指導を担う職員を養成し地域での対策を推進する。</p> <p>【農山漁村なりわい課】  計画通り実施できた。引き続き、連携会議等により広域的な被害対策を推進する。</p> <p>【自然保護課】  市町村の他、農協等関係団体との連携も必要</p>

H30計画	H30実績	評価
<p>(5) 関係隣接県（山形及び福島県）と生息（遊動域）の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。</p> <p>(6) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要なことから、実施状況についてホームページ等を通じ公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、リーフレット、各種自然保護及び鳥獣被害対策関連行事を通じ普及啓発を図る。</p> <p>(7) 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。</p> <p>イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会二ホンザル部会 等 管理計画の内容及び実行状況についての分析・評価</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会 管理計画の作成、実行方法等についての検討、関係者の合意形成。</p> <p>(8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>(5) 保護管理の実施状況等の情報交換を行った。</p> <p>(6) 管理計画をホームページで公表するとともに、群れの生息状況等についても公表した。</p> <p>(7) 部会、検討評価委員会をそれぞれ1回開催し、県及び該当市町村の事業実施計画等について検証を行った。</p> <p>(8) 県内各地に配置されている林業普及指導員等が、普及活動を通じて、被害防止技術の情報提供を行った。</p>	<p>【自然保護課】 会議等による情報交換を行うなど、今後連携を図っていく必要がある。</p> <p>【自然保護課】 計画書の公表のほか、群れの生息状況なども今後公表していく必要がある。</p> <p>【自然保護課】 特定計画の実施状況を検討・評価するため、今後継続していく。</p> <p>【林業振興課】 生産者のニーズに応じた引き継ぎ、被害防除技術提供を提供する。</p>

平成31年度

ニホンザル管理事業実施計画書(市町村実施分)

白石市	12
角田市	13
蔵王町	14
七ヶ宿町	15
川崎町	17
丸森町	18
仙台市	20
山元町	22
加美町	24

令和元年8月

宮城県環境生活部自然保護課

平成31年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

白石市

H30計画		H31計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 2.96 ha 3.29 ha (2) 金額(下段前年度) 3,150 千円 3,494 千円 (3) 作物 水稲、りんご、柿、大豆等 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 2.61 ha 2.90 ha (2) 金額(下段前年度実績) 2,947 千円 3,275 千円 (3) 作物 水稲、豆類、果樹等 (4) その他			
2 被害防除対策 (1) 銃器による群れの追い上げ及び捕獲の実施 (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助 (3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底	2 被害防除対策 (1) 銃器・花火による群れの追い上げ及び捕獲の実施 (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助 (3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底			年間被害対策費合計 34,172 千円 ※他の鳥獣との合計額
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 0 頭			
4 生息環境管理 (1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進する。 (2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。	4 生息環境管理 (1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進する。 (2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。			
5 その他 (1)	5 その他 (1)			

平成31年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

角田市

H30計画		H31計画		備考
1 被害軽減目標	1 被害軽減目標			
(1) 面積（下段前年度） 0.00 ha 0.01 ha	(1) 面積（下段前年度） 0.00 ha 0.00 ha	(2) 金額（下段前年度） 0 千円 7 千円	(2) 金額（下段前年度） 0 千円 0 千円	
(3) 作物 未成熟トウモロコシ (4) その他	(3) 作物 未成熟トウモロコシ (4) その他			
2 被害防除対策	2 被害防除対策			年間被害対策費合計 1,033 千円
(1) 柿の実などの放置をなくすよう周知す (2) 定期的パトロールを実施する。 (3) 銃器による追い払い、捕獲を実施する。 (4) ニホンザル用の電気柵設置を推奨する。	(1) 食べない果実等放置の防止を周知 (2) 定期的にパトロールの実施 (3) 銃器による追い払い、捕獲の実施 (4) 被害内容に応じた諸対策の提案			
3 個体数管理	3 個体数管理			
個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 15 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 頭	個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 15 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 頭			
4 生息環境管理	4 生息環境管理			
(1) 実施隊による被害防止パトロールを実施 (2)	(1) 実施隊パトロール等による生息域の非拡大 (2)			
5 その他	5 その他			
(1) 被害防止対策の呼びかけに努める。	(1) 住民の被害防止意識の啓発			

平成31年度二ホンザンガル管理事業実施計画（市町村分）

蔵王町

H30計画		H31計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.01 ha 0.02 ha (2) 金額(下段前年度) 37 千円 34 千円 (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他	0.01 ha 0.01 ha 37 千円 25 千円 (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.01 ha 0.01 ha (2) 金額(下段前年度) 37 千円 25 千円 (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他	面積は平成28年度の50%、金額は平成28年度の90% に抑えることを目標としている。	
2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用し た効果的な追払い、捕獲の実施。 (2) 電気柵、耐用性障害物の設置に対する 補助を実施。 (3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう 農家へ指導。	2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用し た効果的な追払い、捕獲の実施。 (2) 電気柵、耐用性障害物の設置に対する 補助を実施。 (3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう 農家へ指導。	年間被害対策費合計 11,277 千円 ・蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 8,400千円 ・野生鳥獣被害防止施設(電気柵等)設置事業補助金 2,000千円 ・蔵王町狩猟免許所得促進事業補助金 877千円		
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 1 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1) 生息調査の実施。 (2)	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 1 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1) 生息調査の実施。 (2)			
4 生息環境管理 (1) 山林側との境界付近の除草作業により 領域の明確化を図る。 (2)	4 生息環境管理 (1) 山林側との境界付近の除草作業により 領域の明確化を図る。 (2)			
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との 広域的な被害対策の実施。	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との 広域的な被害対策の実施。			

平成31年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

七ヶ宿町

H30計画		H31計画		備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度)</p> <p>6.30 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度)</p> <p>0.31 ha</p> <p>2,470 千円</p> <p>307 千円</p> <p>(3) そば、水稻、野菜の被害軽減</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度)</p> <p>0.31 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度)</p> <p>0.37 ha</p> <p>275 千円</p> <p>344 千円</p> <p>(3) 水稻、野菜の被害の軽減</p> <p>(4) その他</p>	<p>昨年度実績の2割減を目標とする。</p> <p>昨年度実績の2割減を目標とする。</p> <p>七ヶ宿町の特産である水稻の被害軽減は重要課題であり、電気柵等の設置の推奨及び定期的な見回りの徹底を指導する。</p>	<p>年間被害対策費合計 72,548 千円</p> <p>電気柵等の設置を促し、管理・見回りについても指導を行う。また、町単独事業で電気柵等の設置及び購入に係る費用の5分の4を補助する。</p> <p>なお、常時追い払い活動を実施し、ニホンザルとの境界を明確にする。</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵設置の推奨</p> <p>(2) 追い払いの実施</p> <p>(3)</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵設置の推奨</p> <p>(2) 追い払いの実施</p>			
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数</p> <p>0 頭</p> <p>200 頭</p> <p>発信機装着の増設数</p> <p>発信機装着の更新基数</p> <p>(1) 生息調査の実施</p> <p>(2)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数</p> <p>0 頭</p> <p>200 頭</p> <p>発信機装着の増設数</p> <p>発信機装着の更新基数</p> <p>(1) 生息調査の実施</p> <p>(2)</p>	<p>七ヶ宿町鳥獣被害防止計画に基づき明記。</p> <p>生息調査の実施により、群れの流動域や個体数を把握し、農作物の被害軽減を図る。</p>		

<p>4 生息環境管理  (1) 取り残し農作物の除去の指導  (2) 耕作放棄地の軽減</p>	<p>4 生息環境管理  (1) 取り残し農作物の除去の指導  (2) 耕作放棄地の軽減</p>	<p>行政区長や防災無線、広報誌等を活用し周知徹底を図る。</p>
<p>5 その他  (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会  との広域的な被害対策実施</p>	<p>5 その他  (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会  との広域的な被害対策実施</p>	<p>南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会に参画し、隣接自治体等と情報共有を図り、効果的な被害対策を実施する。</p>



平成31年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

川崎町

H30計画		H31計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.32 ha 0.46 ha (2) 金額(下段前年度) 494 千円 706 千円 (3) 作物 かぼちや、大豆、トウモロコシ等 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.15 ha 0.22 ha (2) 金額(下段前年度) 124 千円 178 千円 (3) 作物 果樹類・とうもろこし・デントコーン・かぼ (4) その他	被害面積、金額ともに昨年の3割減を目標とする。	年間被害対策費合計 19,214 千円 ①H30農作物有害鳥獣駆除対策業務金 2,828千円 ②緊急捕獲ニホンザル分、サルパトロール等 3,386千円 ③電気柵補助金 13,000千円 (イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル含む)	
2 被害防除対策 ・実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・広報等での有害鳥獣の対策紹介	2 被害防除対策 ・実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・広報等での有害鳥獣の対策紹介 ・実施隊による週一回の町内パトロール			
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 頭 生息域調査の実施	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 頭			
4 生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。	4 生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。			
5 その他	5 その他			

平成31年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

丸森町

H30計画		H31計画		備考
1 被害軽減目標	1 被害軽減目標	1 被害軽減目標	1 被害軽減目標	
(1) 面積(下段前年度)	(1) 面積(下段前年度)	(1) 面積(下段前年度)	(1) 面積(下段前年度)	
0.10 ha	0.10 ha	0.10 ha	0.10 ha	
0.00 ha	0.00 ha	0.04 ha	0.04 ha	
(2) 金額(下段前年度)	(2) 金額(下段前年度)	(2) 金額(下段前年度)	(2) 金額(下段前年度)	
100 千円	100 千円	100 千円	100 千円	
0 千円	0 千円	51 千円	51 千円	
(3) 作物	(3) 作物	(3) 作物	(3) 作物	
水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、りんご	水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、りんご	水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、りんご	水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、りんご	
(4) その他	(4) その他	(4) その他	(4) その他	
2 被害防除対策	2 被害防除対策	2 被害防除対策	2 被害防除対策	
(1) 住民による自主防除対策への支援	(1) 住民による自主防除対策への支援	(1) 住民による自主防除対策への支援	(1) 住民による自主防除対策への支援	
・電気柵設置に対する補助	・電気柵設置に対する補助	・電気柵設置に対する補助	・電気柵設置に対する補助	
・追払い用火の無料配布(希望者)	・追払い用火の無料配布(希望者)	・追払い用火の無料配布(希望者)	・追払い用火の無料配布(希望者)	
(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施	(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施	(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施	(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施	
(3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施	(3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施	(3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施	(3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施	
3 個体数管理	3 個体数管理	3 個体数管理	3 個体数管理	
個体数調整による目標捕獲数	個体数調整による目標捕獲数	個体数調整による目標捕獲数	個体数調整による目標捕獲数	
頭	頭	頭	頭	
有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	
22 頭	22 頭	20 頭	20 頭	
発信機装着の増設数	発信機装着の増設数	発信機装着の増設数	発信機装着の増設数	
2 頭	2 頭	2 頭	2 頭	
発信機装着の更新基数	発信機装着の更新基数	発信機装着の更新基数	発信機装着の更新基数	
(1) 頭	(1) 頭	(1) 頭	(1) 頭	
(2) 頭	(2) 頭	(2) 頭	(2) 頭	
				年間被害対策費合計 10647 千円
				・電気柵設置に対する補助 54千円
				・追払い用火、鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 7,651千円
				・追払いパトロール員による花火での追払いの実施 2,942千円

<p>4 生息環境管理  (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。  (2)</p>	<p>4 生息環境管理  (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。  (2)</p>	
<p>5 その他  (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。  (2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。</p>	<p>5 その他  (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。  (2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。</p>	

平成31年度二ホンザル管理事業実施計画

仙台市	H30計画	H31計画	備考
<p><b>1 被害軽減目標</b>                      (1) 面積 0.09ha未満 (前年度0.10ha)                      (2) 金額 120千円未満 (前年度94千円)                      (3) 作物 水稲、長ねぎ、大根、白菜、りんご等                      (4) その他 (人身被害・生活被害)                      サルのエサとなる誘引物(果樹や農作物の残さ等)の除去や適切な管理を所有者に呼びかけ、注意喚起を行うことにより、生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p><b>1 被害軽減目標</b>                      (1) 面積 9a未満                      (2) 金額 120千円未満                      (3) 作物 水稲、長ねぎ、大根、白菜、りんご等                      (4) その他 (人身被害・生活被害)                      生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p><b>1 被害軽減目標</b>                      (1) 面積 9a未満                      (2) 金額 120千円未満                      (3) 作物 水稲、長ねぎ、大根、白菜、りんご等                      (4) その他 (人身被害・生活被害)                      生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>仙台市鳥獣被害防止計画(平成29年度策定)における被害軽減目標(平成32年度)の達成を図る。</p>
<p><b>2 被害防除対策</b>                      (1) 日常的な啓発・注意喚起                      ・サルとの適切な接し方や被害防止対策について、市ホームページへの掲載や公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発。                      ・出没が多い地域の地区祭り等で啓発。                      ・農作物収穫後の残さ処理の指導等。                      (2) 出沒情報を受けた際の対応                      ・出沒地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防止対策の助言・指導。                      ・必要に応じて、花火による追い払いを実施。                      ・被害状況により、地域の特性に応じた追い上げや箱わなの設置・捕獲を実施。</p>	<p><b>2 被害防除対策</b>                      (1) 日常的な啓発・注意喚起                      ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供                      ・サルとの適切な接し方や被害防止対策について、市ホームページへの掲載や公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発                      ・出没が多い地域の地区まつり等で啓発                      (2) 出沒情報を受けた際の対応                      ・出沒地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防止対策の助言・指導                      ・必要に応じて、花火による追い払いを実施                      ・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施</p>	<p><b>2 被害防除対策</b>                      (1) 日常的な啓発・注意喚起                      ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供                      ・サルとの適切な接し方や被害防止対策について、市ホームページへの掲載や公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発                      ・出没が多い地域の地区まつり等で啓発                      (2) 出沒情報を受けた際の対応                      ・出沒地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防止対策の助言・指導                      ・必要に応じて、花火による追い払いを実施                      ・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施</p>	
<p><b>3 個体数管理</b>                      個体数調整による捕獲数 130頭(上限)                      発信機装着の増設・更新数 14頭                      (1) 群れの生息状況管理                      ・電波発信機装着により、群れの位置情報の把握 14群                      (2) 個体数調整による捕獲対策(人里に馴れ、奥山に戻らない群れへの対応)                      ・箱わなによる捕獲実施 設置数 27基(最大)                      ・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施(秋保地区の2基に加え、宮城地区に新たに設置予定)                      ・農地や人家に出没を繰返し、山に戻らない群れについては、地域特性に応じた追い上げ・捕獲を実施。</p>	<p><b>3 個体数管理</b>                      目標捕獲数 130頭                      発信機装着の増設・更新数 15頭 (GPS発信機1機を含む)                      (1) 群れの位置情報の把握                      ・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握                      (2) 捕獲対策(人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応)                      ・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施                      ・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施(秋保地区:2基、宮城地区:2基)                      ・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施(捕獲に重点を置いて実施)</p>	<p><b>3 個体数管理</b>                      目標捕獲数 130頭                      発信機装着の増設・更新数 15頭 (GPS発信機1機を含む)                      (1) 群れの位置情報の把握                      ・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握                      (2) 捕獲対策(人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応)                      ・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施                      ・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施(秋保地区:2基、宮城地区:2基)                      ・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施(捕獲に重点を置いて実施)</p>	

<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・群れの位置情報の把握による追い上げや捕獲への活用。</li> <li>・効果的な追い上げや捕獲の実施。</li> <li>・サルとの適切な接し方や被害防止対策につき、市ホームページや公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発。</li> </ul>	<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施</li> <li>・サルとの適切な接し方や被害防止対策につき、市ホームページや公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発</li> </ul>	
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

平成31年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

山元町

H30計画		H31計画		備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度)</p> <p>0.04 ha 0.01 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度)</p> <p>100 千円 11 千円</p> <p>(3) 作物 野菜、柿</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度)</p> <p>0.04 ha 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度)</p> <p>100 千円 0 千円</p> <p>(3) 作物 リンゴ、野菜</p> <p>(4) その他</p>			
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。</p> <p>(2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。</p> <p>(3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。</p> <p>(2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。</p> <p>(3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。</p>			年間被害対策費合計 実施隊日当等 879 千円
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 10 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) これまで捕獲した実績はないが、被害が拡大するようであれば個体数調整のために捕獲する必要がある。</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 10 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) これまで捕獲した実績はないが、被害が拡大するようであれば個体数調整のために捕獲する必要がある。</p>			住民からの目撃情報や被害情報があれば、できる限り現場確認し、情報収集に努める。

<p>4 生息環境管理</p> <p>(1)・りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1)りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。</p>	
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

平成31年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

加美町

H30計画		H31計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 3.01 ha 3.77 ha (2) 金額(下段前年度) 405 千円 507 千円 (3) 作物 水稲, 野菜, 柿 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 3.77 ha 1.57 ha (2) 金額(下段前年度) 507 千円 368 千円 (3) 作物 水稲, 果樹, いも類, 野菜 (4) その他			1割から2割の軽減を目標とする。
2 被害防除対策 (1) 電気柵による畑への侵入防止 (2) 被害防除機材への導入助成 (3) 音火花による追払い (4) 箱わな, 銃器による捕獲, 威嚇	2 被害防除対策 (1) 電気柵による畑への侵入防止 (2) 被害防除機材への導入助成 (3) 音火花による追払い (4) 箱わな, 銃器による捕獲, 威嚇 (5) サル用囲いによる捕獲			年間被害対策費合計 3,132 千円 町鳥獣被害防止対策協議会助成事業を活用する。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1) 箱わなによる捕獲頭数の向上 (2)	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1) 箱わなによる捕獲頭数の向上 (2) 実施隊によるパトロールの実施			猿捕獲用囲い導入数 2基
4 生息環境管理 (1) 町ホームページ等での捕獲事業の周知 (2)	4 生息環境管理 (1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進 (2) 耕作放棄地の刈払いの推進			広報誌等での警護活動
5 その他 (1) 広報誌等での鳥獣被害防止協議会活動周知	5 その他 (1) 町ホームページでの捕獲事業の周知			



平成30年度

ニホンザル管理事業実績報告書(市町村実施分)

白石市	26
角田市	27
蔵王町	29
七ヶ宿町	30
川崎町	32
丸森町	33
仙台市	35
山元町	37
加美町	38

令和元年8月

宮城県環境生活部自然保護課

平成30年度二ホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

白石市

H30計画		H30実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) (2) 金額(下段前年度) (3) 作物 水稲、りんご、柿、大豆等 (4) その他	2.96 ha 3.29 ha 3,150 千円 3,494 千円	1 被害状況 (1) 面積 2.90 ha (2) 金額 3,275 千円 (3) 作物 水稲、果樹、野菜等 (4) その他		被害がなかなか減少せず、これまで出沒しなかつた地区にも出沒するようになっていた。中山間地域では作付けを放棄しており、面積や金額に表れない被害も大きい。引き続き、追い上げ、捕獲、防除対策を強化していく。
2 被害防除対策 (1) 銃器による群れの追い上げ及び捕獲の実施 (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助の継続 (3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底		2 被害防除対策 (1) 実施隊による追い上げ・捕獲を実施した。 (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助を継続した。 (3) 現地、回覧で廃棄野菜・生ゴミを処理するよう啓発、指導を行った。		H30年度被害対策費合計 4,952 千円 追い上げを実施し、39頭捕獲した。 電気柵設置38件1,514,000円を補助した。 被害防除の研修会を開催し、啓発を図った。
3 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (2) 0頭 50頭 0頭 0頭		3 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (2) 0頭 39頭 1頭 0頭		39頭を捕獲した。 1群(戸沢の群れ)1頭に発信器を装着した。
4 生息環境管理 (1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進する。 (2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。		4 生息環境管理 (1) 水田周辺の除草作業を推進した。 (2) 山林側の除草作業を推進した。		被害防除の研修会を開催し、啓発を図った。
5 その他 (1)		5 その他 (1)		

平成30年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

角田市

H30計画		H30実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.00 ha 0.01 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 0 千円 7 千円</p> <p>(3) 作物 未成熟トウモロコシ (4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.00 ha</p> <p>(2) 金額 0 千円</p> <p>(3) 作物 未成熟トウモロコシ、さやエンドウ (4) その他</p>	<p>被害発生はあったが、軽微なものであった。実施隊員による追い払い、定期パトロールにより被害を最小限にとどめることができた。</p>		
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 柿の実などの放置をなくすよう周知する。</p> <p>(2) 定期的パトロールを実施する。</p> <p>(3) 銃器による追い払い、捕獲を実施する。</p> <p>(4) ニホンザル用の電気柵設置を推奨する。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 機会を捉えエサとなるものを放置しないよう呼びかけた。</p> <p>(2) 7月初旬から翌年3月初旬まで定期的パトロールを実施した。</p> <p>(3) 定期的パトロール時や出役時に追い払い、捕獲を行った。捕獲はなかった。</p> <p>(4) 被害相談等の際に、電気柵設置等の被害対策を紹介した。</p>	<p>H30年度被害対策費合計 788 千円</p> <p>住民に対し、被害を呼び寄せない対策を推奨するとともに、実施隊員2名による定期パトロールや追い払いにより被害を最小限にとどめた。</p>		
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数</p> <p>(1) (2)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数</p> <p>(1) (2)</p>	<p>捕獲実績はなかったが、引き続き、被害防止のための捕獲に努めることで、被害抑止を図る。</p>		

<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 実施隊による被害防止パトロールを実施</p> <p>(2)</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 実施隊員により、被害防止パトロールを実施した</p> <p>(2)</p>	<p>実施隊員による定期パトロールは、地域の 出没情報の収集や被害抑止に効果的である と思料される。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 被害防止対策の呼びかけに努める。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 被害相談時に防止のための対策等を提 案した。</p>	<p>住民の意識向上が課題であり、引き続き被 害防止のための備え等、意識向上に努める必 要がある。</p>

平成30年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

蔵王町

H30計画		H30実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.01 ha 0.02 ha (2) 金額(下段前年度) 37 千円 34 千円 (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.01 ha (2) 金額 25 千円 (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.01 ha 0.02 ha (2) 金額(下段前年度) 37 千円 34 千円 (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.01 ha (2) 金額 25 千円 (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他	防除対策の効果に加え、山の突りが良かったこともあり、里山への出沒が少なかったため、農作物への被害が前年度より減少した。結果、被害面積は目標値を達成し、被害金額も目標値の67%と目標値を大きく下回ることができ、目標を達成できた。
2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、現在実施している追払い活動や防除対策等で被害の拡大が抑えられている状況であるため、設置に対する補助金の申請はなかった。 (3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。	2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲を実施した。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、現在実施している追払い活動や防除対策等で被害の拡大が抑えられている状況であるため、設置に対する補助金の申請はなかった。 (3) 目撃報告等があった農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。	2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲を実施した。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、現在実施している追払い活動や防除対策等で被害の拡大が抑えられている状況であるため、設置に対する補助金の申請はなかった。 (3) 目撃報告等があった農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。	2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲を実施した。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、現在実施している追払い活動や防除対策等で被害の拡大が抑えられている状況であるため、設置に対する補助金の申請はなかった。 (3) 目撃報告等があった農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。	H30年度被害対策費合計 10,944 千円 ・蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 8,700千円 ・野生鳥獣被害防止施設(電気柵等)設置事業補助金 2,000千円 ・鳥獣被害対策担い手育成事業補助金 244千円 近年、サルの目撃情報が徐々に増加しており、現在までサルの目撃報告がなかった地域でもハナレザルの目撃報告が寄せられているため、今後も追払い活動や防除対策等を継続して実施し、今後も群れが生息していない環境を維持していきたい。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) 生息調査の実施。 (2)	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) 従来のテレメトリ法を用いた位置特定調査に加え、より精度が高いGPS発信機を用いた生息調査を実施した。 (2)	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) 生息調査の実施。 (2)	3 個体数管理 0 頭 1 頭 1 頭 1 頭 (1) 従来のテレメトリ法を用いた位置特定調査に加え、より精度が高いGPS発信機を用いた生息調査を実施した。 (2)	今後もGPS発信機を用いた生息調査を継続的に実施し、群れの個体数や遊動域、利用地域の変化を追うだけでなく、群れのより詳細な利用場所の把握を試み、今後の対策や方針を検討するための基礎データを収集していく。
4 生息環境管理 (1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。 (2)	4 生息環境管理 (1) 目撃や被害報告があった農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出沒し難い環境づくりに努めた。 (2)	4 生息環境管理 (1) 目撃や被害報告があった農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出沒し難い環境づくりに努めた。 (2)	4 生息環境管理 (1) 目撃や被害報告があった農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出沒し難い環境づくりに努めた。 (2)	山の突りが良かったこともあり、里山への出沒が少なかったため、耕作地又は宅地と生息地である森林等との間を除草することにより、人気の少ない山林付近の農地又は宅地でも出沒を大幅に減少させる効果がみられた。
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会と連携して必要な対策を講じた。	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会と連携して必要な対策を講じた。	今後も引き続き南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策を実施し、被害拡大防止に努めていく。

平成30年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

七ヶ宿町

H30計画		H30実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度)</p> <p>6.30 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度)</p> <p>2,470 千円 307 千円</p> <p>(3) そば、水稲、野菜の被害軽減</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積</p> <p>0.37 ha</p> <p>(2) 金額</p> <p>344 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>水稲、野菜、豆類</p> <p>(4) その他</p>	<p>前年度と横ばいの実績となったが、計画に対しては大幅に減少した。要因としては、電気柵とワイヤーメッシュの複合柵の整備、電気柵等設置に係る費用の補助が考えられ、今後も継続して行う。</p>	<p>H30年度被害対策費合計 40,354 千円</p> <p>電気柵等の設置により被害を減少するに至ったが、未設置の田畑を中心に被害があった。電気柵等設置の推奨を今後も継続して行う。</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵設置の推奨</p> <p>(2) 追い払いの実施</p> <p>(3)</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵等の設置の推奨を行った。</p> <p>(2) 追い払い活動を重点的に行った。</p> <p>(3)</p>	<p>H30年度被害対策費合計 40,354 千円</p> <p>電気柵等の設置により被害を減少するに至ったが、未設置の田畑を中心に被害があった。電気柵等設置の推奨を今後も継続して行う。</p>	<p>H30年度被害対策費合計 40,354 千円</p> <p>電気柵等の設置により被害を減少するに至ったが、未設置の田畑を中心に被害があった。電気柵等設置の推奨を今後も継続して行う。</p>	
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 200 頭</p> <p>発信機装着の増設数 3 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 3 頭</p> <p>(1) 生息調査の実施</p> <p>(2)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 35 頭</p> <p>発信機装着の増設数 1 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 1 頭</p> <p>(1) 生息調査を実施し、大型捕獲檻で多頭捕獲に至った。</p> <p>(2)</p>	<p>前年度に引き続き、発信機の装着を行った。また、有害捕獲については、大型捕獲檻を活用し合計35頭の捕獲に至った。</p>	<p>前年度に引き続き、発信機の装着を行った。また、有害捕獲については、大型捕獲檻を活用し合計35頭の捕獲に至った。</p>	

<p>4 生息環境管理  (1) 取り残し農作物の除去の指導  (2) 耕作放棄地の軽減</p>	<p>4 生息環境管理  (1) 指導を行ったが、未収穫野菜等の放置が見受けられた。  (2) 広報を行ったが、大幅な軽減には至らなかった。</p>	<p>指導方法の改善及び周知の徹底、追い払い隊による呼びかけ等を積極的に行う必要がある。</p>
<p>5 その他  (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策実施</p>	<p>5 その他  (1) 効率的な追い払い活動及び生息調査の実施、捕獲活動を実施した。</p>	<p>今後も継続して、効率的な追い払い活動及び生息調査の実施を行う。</p>

平成30年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

川崎町

H30計画		H30実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.32 ha 0.46 ha (2) 金額(下段前年度) 494 千円 706 千円 (3) 作物 かぼちや、大豆、トウモロコシ等 (4) その他		1 被害状況 (1) 面積 0.22 ha (2) 金額 178 千円 (3) 作物 果樹類・とうもろこし・デントコーン・かぼちや (4) その他		昨年度より人里に下りてきて、農地を荒らしている光景が多く確認された。 被害報告をしない農家等が増えているため、本来の被害はもっと多いと考えられる。
2 被害防除対策 ・実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・広報等での有害鳥獣の対策紹介		2 被害防除対策 畑の周辺の山に多くの群れが住み着いているため、捕獲活動のみでは被害の減少には至らなかつた。今後農家にも防除方法を指導していき、地域での防除を図りたいと思う。		H30年度被害対策費合計 19,384 千円 ①H30農作物有害鳥獣駆除対策業務金2,728千円 ②緊急捕獲ニホンザル分,サルパトロール等 3,567千円 ③電気柵補助金 13,089千円 (イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル含む)
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 生息域調査の実施	頭 50 頭 2 頭 頭	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 生息域の調査を行った。	頭 24 頭 2 頭 頭	
4 生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。		4 生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。		
5 その他		5 その他		



平成30年度二ホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

丸森町

H30計画		H30実績		評価
1 被害軽減目標		1 被害状況		
(1) 面積(下段前年度)	0.10 ha 0.00 ha	(1) 面積	0.04 ha	・鳥獣被害対策実施隊による銃器による追払い及び捕獲を、2人体制で実施(年間延べ240日)したほか、週4日間のサル追払いパトロールによる花火を使つての追払いなどの効果があった。・役場に寄せられた住民からの通報内容を、いち早く実施隊員及びパトロール員に連絡し、追払い活動や捕獲につなげ、効果があった。
(2) 金額(下段前年度)	100 千円 0 千円	(2) 金額	51 千円	
(3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、りんご		(3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、りんご		
(4) その他		(4) その他		
2 被害防除対策		2 被害防除対策		H30年度被害対策費合計 2576 千円
(1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助 ・追払い用花火の無料配布(希望者)		(1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助 ・追払い用花火の無料配布(希望者)		・電気柵設置に対する補助 30千円 ・追払い用花火、鳥獣被害対策実施隊による銃器を使つた追払い、捕獲の実施 2,546千円
(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使つた追払い、捕獲の実施		(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使つた追払い、捕獲の実施		
(3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施		(3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施		
3 個体数管理		3 個体数管理		・広大な範囲を巡回するため、発信機の装着は場所を特定するのに有効である。サルの群れを中心に追払いを実施し、実施隊員、パトロール員らの連携が効果的に行われている。
(1) 個体数調整による目標捕獲数	頭	個体数調整による目標捕獲数	頭	
(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	22 頭	有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	14 頭	
(3) 発信機装着の増設数	2 頭	発信機装着の増設数	2 頭	
(4) 発信機装着の更新基数	頭	発信機装着の更新基数	頭	
(1)		(1)		
(2)		(2)		

<p>4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。 (2)</p>	<p>4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。 (2)</p>	<p>・6月29日に町内全戸に耕作放棄地の除草や山林の適正な管理をお願いするチラシを配付した。</p>
<p>5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。 (2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。</p>	<p>5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。 (2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。</p>	<p>・南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会に参加し、県境を越えた被害対策などについて連携を図った。</p>

平成30年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

仙台市

H30計画	H30実績	評価
<p><b>1 被害軽減目標</b></p> <p>(1) 面積 0.09ha未満 (前年度0.10ha)                  (2) 金額 120千円未満 (前年度94千円)                  (3) 作物 水稲、長ねぎ、大根、白菜、りんご等                  (4) その他 (人身被害・生活被害)                  サルのエサとなる誘引物 (果樹や農作物の残さ等) の除去や適切な管理を所有者に呼びかけ、注意喚起を行うことにより、生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p> <p><b>2 被害防除対策</b></p> <p>(1) 日常的な啓発・注意喚起                  ・サルとの適切な接し方や被害防止対策について、市ホームページへの掲載や公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発。                  ・出没が多い地域の地区祭り等で啓発。                  ・農作物収穫後の残さ処理の指導等。</p> <p>(2) 出没情報を受けた際の対応                  ・出没地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気捕設置等の被害防止対策の助言・指導。                  ・必要に応じて、火花による追い払いを実施。                  ・被害状況により、地域の特性に応じた追い払いや箱わなの設置・捕獲を実施。</p> <p><b>3 個体数管理</b></p> <p>個体数調整による捕獲数 130頭 (上限)                  発信機装着の増設・更新数 14頭                  (1) 群れの生息状況管理                  ・電波発信機装着により、群れの位置情報の把握 14群                  (2) 個体数調整による捕獲対策 (人里に戻らない群れへの対応)                  ・箱わなによる捕獲実施 設置数 27基 (最大)                  ・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施 (秋保地区の2基に加え、宮城地区に新たに設置予定)                  ・農地や人家に出没を繰返し、山に戻らない群れについては、地域特性に応じた追い上げ・捕獲を実施。</p>	<p><b>1 被害軽減目標</b></p> <p>(1) 面積 0.11ha                  (2) 金額 315千円                  (3) 作物 大根、ねぎ、かぼちゃ、きゅうり、じゃがいも等                  (4) その他 (人身被害・生活被害)                  チラシ等を活用し、サルのエサとなる誘引物 (果樹や農作物の残さ等) の除去や適切な管理を所有者に呼びかけ、注意喚起を実施。</p> <p><b>2 被害防除対策</b></p> <p>(1) 日常的な啓発・注意喚起                  ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を平成30年12月から提供。                  ・市ホームページやチラシ等で、サルとの適切な接し方や被害防止対策、農作物収穫後の残さ処理等について広報及び啓発。                  ・宮城総合支所及び秋保総合支所で開催された地区祭りにおいて、出展啓発。</p> <p>(2) 出没情報を受けた際の対応                  ・必要に応じて、火花による追い払いや、出没地域の周辺住民への被害防止対策の助言・指導を実施。                  ・宮城総合支所管内、秋保総合支所管内において、箱わなによる捕獲のほか、大規模追い上げ・捕獲及び小規模追い上げ・捕獲を実施。</p> <p><b>3 個体数管理</b></p> <p>個体数調整による捕獲数 108頭                  発信機装着の増設・更新数 10頭                  (1) 群れの生息状況管理                  ・市内に生息する群れ16群のうち、12群に電波発信機を装着。                  (2) 個体数調整による捕獲対策 (人里に戻らない群れへの対応)                  ・箱わなによる捕獲 41頭                  ・大型捕獲施設による捕獲 52頭                  ・銃器による捕獲 15頭</p>	<p>被害面積は昨年度から微増、金額は約3倍に増加した。目標を達成することはできなかった。</p> <p>H30年度被害対策費合計 7284千円</p> <p>計画どおり日常的な啓発や、追い払い・捕獲を実施したことに加え、新たに「サル群れ情報マップ」を提供。</p> <p>個体数調整による捕獲数は目標を下回ったものの、これまでの秋保地区に加えて宮城地区にも新たに大捕獲施設を導入した影響もあり、大型捕獲施設による捕獲数は大幅に増加した。また、電波発信機の装着については、適当な個体の捕獲が少なく、目標の増設・更新数を下回った。</p>

<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・群れの位置情報の把握による追い上げや捕獲への活用。</li> <li>・効果的な追い上げや捕獲の実施。</li> <li>・サルとの適切な接し方や被害防止対策につき、市ホームページや公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発。</li> </ul>	<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページやチラシを活用しサルとの適切な接し方や被害防止対策について、広報啓発。</li> <li>・群れの位置情報の把握を随時行うとともに、市鳥獣被害対策実施隊が主体となり、追い上げや捕獲を実施。</li> </ul>	<p>計画どおり広報啓発及び追い上げ・捕獲等を実施。</p>
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

平成30年度二ホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

山元町

H30計画		H30実績		評価
1 被害軽減目標		1 被害状況		昨年度と比較すると、被害面積及び金額が減少しているため、今後も減少する可能性がある。しかしながら、住民からの目撃情報等あることから、引き続き注視する必要がある。
(1) 面積(下段前年度)	0.04 ha 0.01 ha	(1) 面積	0.00 ha	
(2) 金額(下段前年度)	100 千円 11 千円	(2) 金額	0 千円	H30年度被害対策費合計 0 千円 サルの目撃情報の周知などにより、住民のサルの被害があることの認識が深まり、事前の被害防除が出来ていると考える。
(3) 作物 野菜、柿		(3) 作物		
(4) その他		(4) その他		
2 被害防除対策		2 被害防除対策		被害面積が減少しているものの、来年度被害が拡大するようであれば調査を行い、被害軽減及び個体数調整のため捕獲に努める。
(1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追いつき払いの支払いを実施。		(1) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知を行った。		
(2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。		(2) サルの目撃情報の周知を行い、事前の防除を促した。		被害等はなかつたものの、放置した農作物が、誘因の原因(餌付け)になっていることも考えられるため、引き続き農家に周知を徹底する必要がある。
(3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。		(3)		
3 個体数管理		3 個体数管理		
個体数調整による目標捕獲数	10 頭	個体数調整による目標捕獲数	0 頭	被害面積が減少しているものの、来年度被害が拡大するようであれば調査を行い、被害軽減及び個体数調整のため捕獲に努める。
有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	頭	有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	0 頭	
発信機装着の増設数	頭	発信機装着の増設数	0 頭	被害等はなかつたものの、放置した農作物が、誘因の原因(餌付け)になっていることも考えられるため、引き続き農家に周知を徹底する必要がある。
発信機装着の更新基数	頭	発信機装着の更新基数	0 頭	
(1) これまで捕獲した実績はないが、被害が拡大するようであれば個体数調整のため捕獲する必要がある。		(1) 山元町においては、サルの目撃情報等はあるが、群れの確認はなく、生息数も増加している傾向は無いと思われる。		
4 生息環境管理		4 生息環境管理		
(1) ・りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。		(1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理された。		
5 その他		5 その他		

平成30年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

加美町

H30計画		H30実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度)</p> <p>3.01 ha 3.77 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度)</p> <p>405 千円 507 千円</p> <p>(3) 作物 水稲, 野菜, 柿</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積</p> <p>1.60 ha</p> <p>(2) 金額</p> <p>362 千円</p> <p>(3) 作物 水稲・野菜・果樹・イモ類、自家消費野菜</p> <p>(4) その他</p>	被害面積及び被害額が減った。		
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防止</p> <p>(2) 被害防除機材への導入助成</p> <p>(3) 音火花による追払い</p> <p>(4) 箱わな, 銃器による捕獲, 威嚇</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防除</p> <p>(2) 音火花による追払い</p> <p>(3) サル用囲いわな, 銃器による捕獲</p> <p>(4)</p>	H30年度被害対策費合計 15,872 千円 被害面積及び被害額が減り、被害対策として絶大な効果が上げられた。		
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 箱わなによる捕獲頭数の向上</p> <p>(2)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 52 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 実施隊によるパトロール</p> <p>(2)</p>	サル用囲いわなにて45頭の捕獲で大きな効果を上げられた。		

<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 町ホームページ等での捕獲事業の周知</p> <p>(2)</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進</p> <p>(2) 耕作放棄地の刈払いの推進</p>	
<p>5 その他</p> <p>(1) 広報誌等での鳥獣被害防止協議会活動周知</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 広報誌等での鳥獣被害防止協議会活動周知</p>	

